

一 不染世間法 如蓮華在水 從地而涌出の事

仰せに云はく、世間法とは、全く貪欲等に染せられず、譬へば蓮華の水の中より生ずれ共、淤泥に染まざるが如し。此の蓮華と云ふは地涌の菩薩に譬へたり。地と云ふは法性の大地なり。所詮法華經の行者は蓮華の泥水に染まざるが如し。但唯以一大事の南無妙法蓮華經を弘通するを本とせり。世間法とは、国王大臣より所領をたまはり官位をたまふ共、夫には染せられず、謗法の供養を受けざるを以て不染世間法とは云ふなり。所詮蓮華は水を離れて生長せず。水とは南無妙法蓮華經是なり。本化の菩薩は蓮華の如く、過去久遠より已来本法所持の菩薩なり。蓮華在水とは是なり。所詮此の水とは我等行者の信心なり。蓮華は本因本果の妙法なり。信心の水に妙法蓮華は生長せり。地とは我等衆生の心地なり。涌出とは広宣流布の時、一閻浮提の一切衆生、法華經の行者と成るべきを涌出とは云ふなり云云。